

短茎小菊栽培技術の習得支援

高知県事務所農産普及課

【普及活動のねらい・対象】

平成18年度に県事務所で開催した短茎小菊栽培研修会をきっかけに、翌平成19年度JA新旭町において新しくJA新旭町直売菊部会（部会員40名）が設立しました。

同部会は、需要の高いお盆時期に直売所「四季彩館」へ出荷する草丈が短くてよい仏花として小菊栽培を計画しており、県で推進する無駄のない環境にやさしい（省力、省農薬、省化学肥料）短茎小菊栽培に取り組むこととなりました。

そこで平成19年度より普及部と連携し、品種の選定や短径小菊栽培に必要な技術習得のための支援を行ってきました。

【普及活動の成果】

栽培技術の習得に関する支援

新たに短茎小菊栽培に取り組むにあたり、普及部の支援のもと重要な作業ごとに現場も含めて研修会を行いました。また、説明した技術内容が実施されているかほ場巡回を行い技術の定着を図った結果、無事お盆に直売所へ出荷出来ました。

販売結果

直売所をメインに、予約販売注文や地域の花卸業者との出荷契約および大津市場への出荷を行ったところ、直売所では整理券を配るほど来客があり前年より小菊の販売額が25%増え部会員に自信が出来ました。

栽培と販売の拡大

今後、お盆向けの作付けを拡大するとともに、花卸業者との出荷契約本数の拡大や予約販売注文のPRを行うとともに、9月の彼岸にも小菊の需要があることから、その時期に向けた栽培についても支援します。



現地研修会



直売所（四季彩館）